令和５年度 （新城高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○　課題・目標別実施結果

課　　題		目　　標	実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	法令違反職員はゼロ	・職員行動指針を職員室内に常時掲示し、各自が携行するとともに、事故防止会議において都度内容の確認を行った。 ・コンプライアンスにかかる研修を実施した。
		法令遵守意識を向上させ、公務外の非行はゼロ	・教育長通知をはじめ、綱紀保持通知の周知徹底をはかり、不祥事事案についての共有・注意喚起および意識啓発を朝の打合せ、各種会議の場を捉えて行った。
2	職場のハラスメントの防止	パワハラ・わいせつ・セクハラ行為を始めとした各種ハラスメントゼロ	・校内研修でさまざまなハラスメントについて啓発と防止について具体的な事例を取り上げて研修・啓発を行い目標を達成した。
3	体罰、不適切な指導の防止	生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	・生徒に対するわいせつ・セクハラ防止のため、理解を深め、意識啓発やＳＮＳによる生徒との連絡の禁止等を徹底し、相互チェックの体制を整備した。 ・わいせつ・セクハラアンケートに関する研修を踏まえ、職員の啓発機会を設けた。
		体罰、不適切な指導はゼロ	・体罰や不適切な指導の理解を深め、生徒理解に基づいた支援を行うよう努めた。 ・部活動においては複数顧問配置を行い、全職員で指導・支援に関わっていくよう体制を整え、目標を達成した。
4	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績の誤処理・進路関係書類の誤作成をゼロ	・入選マニュアル・成績処理マニュアル遵守を徹底し、規定通りのチェックを厳密に行った。 ・新たなシステムの導入に際して、シミュレーションなどを徹底して目標を達成した。
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止、暗号化フォルダ保管）	個人情報流出ゼロ	・個人情報のデータファイルの扱いの徹底により、情報セキュリティ対策を行い、業務負担を軽減した。 ・電子データ以外の情報管理も整備・徹底した。 ・個人情報取扱いに関して常に注意喚起を行い目標を達成した。
		個人情報を無断で持ち帰る職員はゼロ	・デジタル採点システムの導入により、効率的な採点業務を行うことにより、答案等の持ち帰り自体をなくし、目標を達成した。
6	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	その人のみにしかできない業務はゼロ	・グループ内の業務協力体制を整備し、複数業務体制を構築し、情報・ノウハウの共有化を図り業務の効率化を行った。 ・入学者選抜・成績処理・進路文書作成など、全教職員によるマニュアルの確認と、業務内容の周知を徹底した。

7	財務事務等の適正執行	私費会計基準に基づく適切な執行により、事故ゼロ	・インターネットバンキングの活用を進め、現金の扱いを前年の半数まで減らし業務の改善と事故防止を進めた。 ・迅速な支払い・納品の確認を徹底し、目標を達成した。 ・会計担当者会の開催と研修により適正な会計運用処理を進め目標を達成した。

○　その他の主な取組

＊個別面談をとおして、風通しのよい校内体制を構築した。

＊安全管理や応急措置に係る研修の実施と要領を常に確認できるようにした。

○　令和５年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和６年度に取り組むべき課題

（学校長意見）

令和５年度は、新型コロナウィルス感染症への対策が緩和され、さまざまな行事や業務が元に戻る中、業務の精選や ICT 活用能力の向上に伴う新たなシステムの導入・活用を通じて、正確で効率的な業務遂行に努め、不祥事防止の取組、体制に進展があった。

全職員が、事故防止会議・職員会議・朝の打合せ、その他研修機会等で自己点検や確認をすることで、繰り返し事故防止の意識啓発を行うことで、緊張感を維持しながら業務遂行にあたり、事故防止の具体的手立てを講じることが出来た。

引き続き、組織的な点検体制の構築や意識向上の重要性を周知徹底しながら不祥事の根絶に取り組んで行きたい。